



株主のみなさまへ

第76期 中間報告書

(2021年4月1日~2021年9月30日)

経営理念

より良き品を、より早く、より多く、より安く、より賢くつくることで 持続可能かつ地球にやさしく豊かな社会の実現に貢献する

事業の概況

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。 当社第76期第2四半期連結累計期間(2021年4月 1日から2021年9月30日まで)の事業の概況につき まして、ここにご報告申し上げます。

貝汎由久

代表取締役 会長兼社長執行役員 (Representative Director, CEO&COO) 2021年11月



■当第2四半期連結累計期間の概況

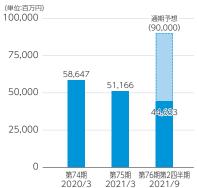
当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)のわが国の経済は、新型コロナウイルス感染再拡大による緊急事態宣言等が延長されたことにより個人消費は低迷したものの、海外経済の回復を背景に輸出が増加したことから改善傾向となりました。米国経済は、半導体不足による自動車減産や物流の混乱による影響があったものの、輸出や企業の設備投資が増加したことなどから改善傾向にあります。欧州経済は、ワクチン接種の進展を受けた活動制限の緩和により個人消費が回復、また米国向けを中心に輸出が拡大傾向にあるなど、回復の兆しが見えております。中国経済は、政府主導によるインフラ投資や不動産開発投資の引き締めなどから、景気の回復幅は縮小しております。東南アジアにおいては、デルタ変異株の感染拡大によるロックダウンに起因する輸出減速の影響を受け、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループは、かかる経営環境下で、収益力のさらなる向上を実現するために、徹底したコスト削減、高付加価値製品と

■ 財務ハイライト(連結)

売上高の推移 (単位:百万円) 1.200.000 通期予想 (1,050,000)988,424 978 445 900 000 600.000 530,260 300,000 0 第74期 第75期 第76期第2四半期 2020/3 2021/3 2021/9





親会社の所有者に帰属する当期利益の推移/ 基本的1株当たり当期利益



新技術の開発及び拡販活動に注力してまいりました。

この結果、売上高は530,260百万円と前年同期比68,530百万円(14.8%)の増収となりました。営業利益は44,633百万円と前年同期比23,711百万円(113.3%)の増益、税引前四半期利益は44,319百万円と前年同期比24,069百万円(118.9%)の増益、親会社の所有者に帰属する四半期利益は35,052百万円と前年同期比19,627百万円(127.3%)の増益となりました。なお、前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第2四半期連結累計期間に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

■通期の見通し

第3四半期連結会計期間以降も、各国の貿易政策、為替動向、地政学的リスク等、今後の世界経済の動向は不透明な状況にあります。

このような状況の中、現時点で予想可能な範囲で当第2四半期連結累計期間の業績及び直近の状況を踏まえ、通期連結業績予想を見直し、以下のとおり変更いたします。

					(単位:百万円)
売上高	1,050,000	営業利益	90,000	親会社の所有者に帰属する当期利益	72,000

■利益配分に関する基本方針及び当期の配当

当社は、株主に対する利益還元を経営上の重要事項と認識しており、経営環境を総合的に勘案し、継続的に安定した利益配分を維持しながら、株主資本の効率向上と株主へのより良い利益配分を第一義とし、業績をより反映した水準での利益還元をはかることを基本方針といたします。

この基本方針の下、当期の中間配当金に関しましては、前中間期実績から4円増配し、1株当たり18円といたします。また、期末配当金についても前期実績14円(創業70周年記念配当金8円を除く)から4円増配し、1株当たり18円とする予定ですが、当期の業績を勘案した上で連結配当性向20%程度を目処に決定いたします。

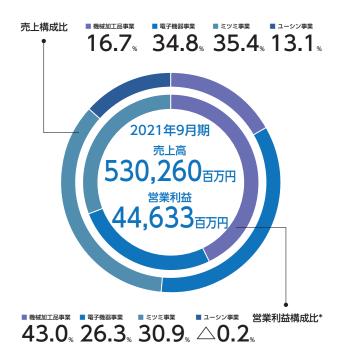
株主のみなさまにおかれましては、引き続き格別のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。







セグメント別の概況



* その他調整額を控除した比率です。

機械加工品事業

売上高 88,357百万円 7 20.1%増

ボールベアリングは、データセンター向けのサーバー需要が堅調なことからファンモーター向けが好調に推移したことにより売上高は増加しました。ロッドエンドベアリングは、航空機関連の需要減により売上高は減少しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は88,357百万円と前年同期比14,809百万円(20.1%)の増収となり、営業利益は22,819百万円と前年同期比8,752百万円(62.2%)の増益となりました。

電子機器事業

売上高 184,127百万円 7.9%増

液晶用バックライトのスマートフォンにおける採用モデルの減少に伴う需要減はありましたが、車載向けモーターの需要増により、売上高は増加となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は184,127百万円と前年同期比13,529百万円(7.9%)の増収となり、営業利益は13,941百万円と前年同期比6,127百万円(78.4%)の増益となりました。

ミツミ事業

売上高 187,710百万円 🖊 14.2%増

半導体デバイス、カメラ用アクチュエータの光デバイス等が好調に推移し、売上高は増加しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は187,710百万円と前年同期比23,333百万円(14.2%)の増収となり、営業利益は16,414百万円と前年同期比8,727百万円(113.5%)の増益となりました。

ユーシン事業

売上高 69,579百万円 7 31.8%増

自動車部品は自動車生産の回復に伴い需要が回復し、産業機器 用部品も農機、建機向けの需要が好調に推移したことにより、売 上高は増加しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は69,579百万円と前年同期比16,781百万円(31.8%)の増収となり、営業利益は売上高の増加に伴い104百万円の損失と前年同期比1,723百万円の改善となりました。

- (注1) その他の事業は、自社製機械が主な製品であります。当第2四半期連結累計期間の売上高は487百万円と前年同期比78百万円(19.0%)の増収、営業損失は910百万円と前年同期比86百万円の悪化となりました。
- (注2) 上記以外に、各セグメントに帰属しない全社費用等7.527百万円を調整額として表示しております。前年同期の調整額は5.995百万円でした。

スマートロック「SADIOT LOCK(サディオロック) |新製品を販売



2021年10月、スマートフォンを利用して玄関のドアを解錠、施錠することができ るスマートロック「SADIOT LOCK(サディオロック)」の新製品を発売しました。

当社グループのユーシン・ショウワが2月に発売したスマートロックの新製品で、 Apple Watch対応などの新機能やハンズフリーの機能改善に加え、セキュリティチッ プ搭載によりハッキング対策を強化しました。カラーバリエーションも従来の2色から 8色に増え、お客様の好みに合わせて、玄関という大切な空間を彩るインテリア・空間 演出にご活用いただけます。

本製品は、ユーシン・ショウワが長年蓄積した住宅用錠前・セキュリティに関する 知見と、機電一体の「エレクトロメカニクス ソリューションズ® プロバイダーである 当社の幅広い先端技術を組み合わせた製品開発により「安全・安心」の利便性をさら に向上させております。







Apple Watchで連携 スマートフォン・リモコンキー を持たなくても専用アプリで ロックの解錠/施錠が可能

タイ製不織布マスクの販売開始・当社製マスク日本産業規格(JIS T9001)に適合

2021年7月、タイ製不織布マスクの日本での販売を開始しました。当社は2020年4月より日本国内のクリーンルームで高捕集効率フィルタを 使用した不織布マスクの生産を開始し、さらに2021年4月には日本の浜松工場のラインと同じ工程・材料でタイ工場でも生産を開始しました。 日本製マスクと同じ品質を保ちながら、さらにお求めやすい価格設定となっております。

また、当社の日本製およびタイ製マスク(ふつうサイズ)が、一般社団法人日本衛生材料工業連合会が運用する『医療用マスク』の日本産業 規格 (JIS) 適合審査 T9001適合審査で適合となりました。(適合番号:

日本製マスクM22109050、タイ製マスクM22109049,クラス II)

なお、JIS適合表示した改訂品(新パッケージ品)は従来品のマスク と仕様・品質に変更はございません。

当社は、今後も医療現場の最前線で治療に携わられるみなさまに心 からの敬意を表するとともに、さまざまなウイルス対策に必要な支援 を続けてまいります。



タイ製マスク



日本製マスク

家庭用スマート照明機器「SALIOT pico(サリオ ピコ)」新製品を販売

SALIOT pico いつもの暮らしに新しいオフタイムを

2021年10月、家庭用スマートLEDライティング機器「SALIOT pico (サリオ ピコ)」の新商品8機種を発 売しました。3月に発売した従来のモデルにタイマーで明るさが変化する機能を追加したほか、使用場所や用 途を広げられるよう、コンパクトなタイプを追加し、サイズバリエーションを拡充しました。

本製品は、SALIOTで培った光学技術と回路、無線技術のノウハウをコンシューマー向けに展開した家庭用 スマート照明機器です。美術館や博物館などで求められる高い演色性(Ra97)*と豊富な光のバリエーション により、タスクライト、間接光、演出光など多様な照明手法で、ご家庭での新たな光空間演出を実現します。

*演色性:光に照らされたときの、物体の色の見え方/Ra:平均演色性評価数という値。100に近いほど本来の自然の色を再現 できる性質が高い



スタンドタイプ (快適な眠りに誘うあかり)

アナログ半導体はミネベアミツミグループの収益基盤を支える コア事業「8本槍」の一つです。 今後も高い成長が見込まれることから2年連続で大規模な投資を実施します。

アナログ半導体の事業拡大、相合活動のさらなる活性化を目指し、 ハード/ソフト両輪の強化を図っています

アナログ半導体事業の拡大のみならず、ミネベアミツミグループの製品群と相合(そうごう=相い合わせる)することで、 新たな価値を創造してまいります。当社の持つアナログ半導体の高い開発設計・製造技術をキーに競争力を強化してゆきます。

主なアナログ半導体の使用用途と当社における今後の見込み

リチウム 保護 技術を融合し急速充電で 圧倒的な技術優位性を確保、 業界ナンバーワンのポジションを確立させる



EV向けハイエンド品に特化した製品開発へ シフトし、成長軌道に乗せ売上拡大



ポートフォリオを拡充し、 車載市場の伸びに追従して売上拡大



業界トップの±200V対称送信パルス技術を 武器に超音波診断装置で売上拡大



エイブリック・ミツミの技術を融合し ミネベアミツミ製品に貢献する



位置センシングと電流センシングに注力し、 モーター・車載デバイス・産業機械で売上拡大

MEMS ・センサ

ADC・MEMSのコアを生かして 付加価値の高い製品群を拡充 クリーン ブースト

環境発電のブランド化と、協業メーカーとの アライアンスを推進し売上拡大

アナログ半導体とは?

アナログ半導体とは、情報を"O""1"で表すデジタル半導体と異なり、"やや低め""やや高め"で表す半導体。多様で複雑な信号を正確に処理するためには高度な技術と製造方法が必要になります。当社は、匠の技術と緻密さ・丁寧さ、現場力の活用による、相合力発揮型のモノづくりノウハウを有しています。

製品の特徴として、①高品質・高精細、②参入障壁が高い、③IDM(自社内で回路設計から製造、販売までの全ての設備を持つ垂直統合型のデバイスメーカー)だからこそ成せる技がある、といった点があります。

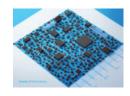
当社は、2021年10月にオムロン株式会社より分社化されたアナログ半導体製造子会社の全株式を取得し、MMIセミコンダクター株式会社として事業を開始いたしました。

今期の強化の主なポイント

/ ハード面の体制強化 生態

生産体制

- ・MMIセミコンダクターの取得により、8インチウエハの生産が可能に
- 8インチ生産設備への100億円超の追加投資により、全社生産能力は50%UPの見込み
- ウエハサイズを使い分けることで、生産効率向上につなげます







前工程:ウエハ上にトランジスタ層を形成しその上にいく つもの配線回路層を形成し重ねていきます。

後工程:前工程からのウエハを切り離します。金属等で接

続した後パッケージ化します。

2 ソフト面の体制強化

開発体制

- ・総勢300名による技術・開発体制を確立し、顧客に密接した製品を開発
- ・ミックスドシグナル半導体を通じたアナログ半導体の競争力強化
- アナログ半導体の持つ制御技術をモーター等に活用することで相合によるシナジーを加速





ミツミ厚木



エイブリック高塚



ミツミ群馬



ミツミ岐阜

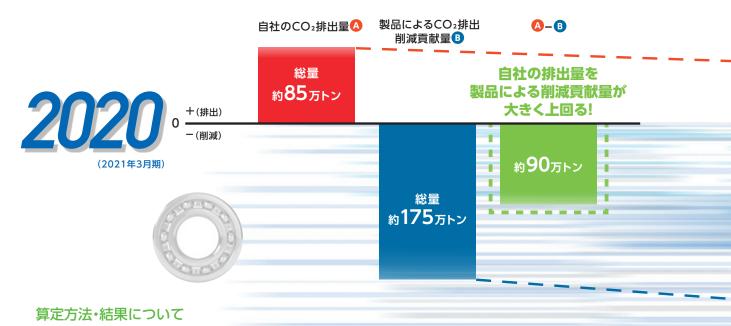
超精密技術の相合で

自社のCO2排出量削減に加え、

100周年・2051年のための新たな戦略



当社は、世界中で気候変動への取り組みが喫緊の課題となるなかで、2051年の当社100周年に向けた基礎固めとして、QCDS(品質・価格・納期・サービス)に、Eco(環境)・Efficiency(効率)、そしてSpeed(スピード)を加えた「QCDESS」を新たな経営戦略として発表し、事業活動そのものを通じた環境負荷低減への対応を加速していきます。



貢献量は、電子情報技術産業協会(JEITA)ガイドラインに準拠して、算定しました。

「製品使用時のCO₂排出削減効果」とは、評価対象製品の消費電力と、1世代前の部品が搭載されている製品の消費電力を比較したときの消費電力の削減量を表しています。

「ビヨンドゼロ」を実現

世界のCO2排出量削減をサポート







世界全体への貢献 ビヨンド ゼロへ

当社は、自社のCO₂排出量の削減努力に加え、当社の部品をご使用いただいている世界のお客様のCO₂排出量を削減することで、世 界全体のCO₂排出量削減に貢献しております。そして、この取り組みを「ビョンドゼロ」と定義し、削減貢献量をさらに拡大することで、 2030年、そして2050年の持続可能な地球環境の実現に貢献してまいります。

自社のCO₂排出量△

製品によるCO2排出 削減貢献量B

A-**B**







連結計算書類 (IFRS)

●要約四半期連結財政状態計算書 (単位: 百万円)

	科		B		当第2四半期末(第76期) (2021年9月30日現在)	前期末(第75期) (2021年3月31日現在)
資産						
流	動		資	産	629,116	575,275
非	流	動	資	産	400,905	401,496
資	産		合	計	1,030,021	976,771
負債						
流	動		負	債	414,235	345,772
非	流	動	負	債	154,375	177,001
負	債		合	計	568,610	522,773
資本						
資		本		金	68,259	68,259
資	本	剰	余	金	139,810	139,456
自	Ε	3	株	式	△ 46,188	△ 39,166
利	益	剰	余	金	292,613	265,417
そ	の他の	資本	の構成	要素	4,245	17,175
親会社の所有者に帰属する持分合計			信合	458,739	451,141	
非	支	配	持	分	2,672	2,857
資	本		合	計	461,411	453,998
負債	責及 で	び資	本台	計	1,030,021	976,771

⁽注) 金額は百万円未満を四捨五入表示しております。

●要約四半期連結損益計算書 (単位: 百万円)

科目	当第2四半期累計期間(第76期) (2021年4月 1 日から) 2021年9月30日まで)	前第2四半期累計期間(第75期) (2020年4月 1 日から) 2020年9月30日まで)
売 上 高	530,260	461,730
売 上 原 価	425,253	386,978
売 上 総 利 益	105,007	74,752
販売費及び一般管理費	60,545	51,269
その他の収益	2,151	3,302
その他の費用	1,980	5,863
営 業 利 益	44,633	20,922
金融 収益	787	801
金 融 費 用	1,101	1,473
税引前四半期利益	44,319	20,250
法人所得税費用	9,290	4,788
四 半 期 利 益	35,029	15,462
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	35,052	15,425
非 支 配 持 分	△ 23	37
四半期利益	35,029	15,462

⁽注) 金額は百万円未満を四捨五入表示しております。

●要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

科目	当第2四半期累計期間(第76期) (2021年4月 1 日から 2021年9月30日まで)	前第2四半期累計期間(第75期) (2020年4月 1 日から 2020年9月30日まで)
営 業 活 動 に よるキャッシュ・フロー	34,783	7,731
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 25,163	△ 47,455
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,185	33,425
現金及び現金同等物に係る 換 算 差 額	△ 852	122
現金及び現金同等物の 増 減 額(減 少:△)	1,583	△ 6,177
現金及び現金同等物の 期 首 残 高	165,479	130,746
現金及び現金同等物の 四 半 期 末 残 高	167,062	124,569

⁽注) 金額は百万円未満を四捨五入表示しております。

会社概要 (2021年9月30日現在)

商 묵 ミネベアミツミ株式会社 本社所在地 **T389-0293** 長野県北佐久郡御代田町大字御代田4106番地73 TEL 0267-32-2200 (代表) 創立年月日 1951年7月16日 ₹108-8330 東京本部所在地 東京都港区三田三丁目9番6号 資 本 金 68.259百万円 TEL 03-6758-6711 (代表) 東京本部・軽井沢工場・松井田工場・浜松工場・ 業 従業員数 4.562名 藤沢工場・米子工場

株式情報

(2021年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数1,000,000,000,000株発行済株式の総数427,080,606株株主数24,623名

大株主の状況 (上位10名)

	<u>持株比率</u>
(株)	(%)
64,503,900	15.92
24,489,400	6.05
15,447,330	3.81
15,413,900	3.81
12,385,645	3.06
10,985,400	2.71
10,223,597	2.52
10,181,739	2.51
10,100,000	2.49
10,058,649	2.48
	64,503,900 24,489,400 15,447,330 15,413,900 12,385,645 10,985,400 10,223,597 10,181,739 10,100,000

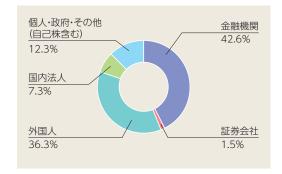
(注) 1.当社は、自己株式22,029,667株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。
2.持株比率は自己株式を控除して計算しております。

表紙の写真:当社グループアナログ半導体国内生産拠点

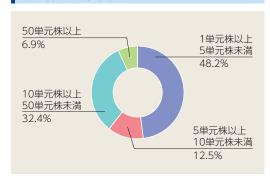
コイブルーファブログキ等体国内主体拠点

上段左より ミツミ千歳 MMIセミコンダクター滋賀
 エイブリック高塚 エイブリック秋田

所有者別株式分布状況



単元株主数分布状況



株主メモ

事 業 年 度 毎年4月1日から翌年3月31日まで 定時株主総会 毎年6月開催 単元株式数 100株 基 進 \Box 定時株主総会 毎年3月31日 配当金支払 期末配当金 毎年3月31日 株主確定日 中間配当金 毎年9月30日 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 特別口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社 同連絡先 (郵便物送付先) ₹168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ○ 0120-782-031 (平日午前9時~午後5時) (電話照会先) (ウェブサイト) https://www.smtb.jp/personal/ procedure/agency/ /よくあるご質問\ https://faq-agency.smtb.jp/?site_ (FAQ) domain=personal 公告方法 電子公告により行います。 (https://www.minebeamitsumi.com/) ただし、事故その他やむを得ない事由に よって電子公告による公告をすることが

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社等の口座に記録された株式

□座を開設されている証券会社に お問い合わせください。

株券電子化前に「ほふり」(株式会社 証券保管振替機構)を利用されていな かった株主様には、株主名簿管理人で ある三井住友信託銀行株式会社に口座 (特別口座といいます。)を開設してお ります。

特別口座に記録された株式

※この特別口座で管理しております株式は、 そのままでは売買することができません。 株主様が証券会社にご自身で開設された口 座に、特別口座から株式をお振替いただく 必要がございます。

各種お手続きにつきましては、 当社の特別口座管理機関である 三井住友信託銀行 証券代行部に お問い合わせください。

(平日午前9時~午後5時)

上場証券取引所 東京証券取引所第一部

て行います。



見やすいユニバーサルデザイン フォントを採用しています。







できない場合は、日本経済新聞に掲載し

この印刷物は、石油系溶剤を使用しない植物油100%のインキを使用し 環境にやさしい水なし印刷で印刷しています。



ミネペアミツミ株式会社は、国産木材を積極的に使って日本の森林を育てていくことが大切だと考え、林野庁が推進する「木づかい運動」を応援しています。 この冊子の制作により、長野県の木材が製成院として活用され、国内の森林によるCOV吸収量の拡大に貢献しています。



ミネベアミツミ株式会社

東京本部

〒108-8330

東京都港区三田三丁目9番6号

TEL 03-6758-6711(代表) FAX 03-6758-6700

URL https://www.minebeamitsumi.com/